

1 題材名 ペったんコロコロ

2 題材の目標

- (1) 形を写すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付く。用具に十分に慣れるとともに、写してできる模様を並べたりつないだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくる。(知識及び技能)
- (2) 写してできる形や色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するか考える。写す材料や写してできたものの造形的な面白さや楽しさ、造形的な活動、つくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。(思考力・判断力・表現力等)
- (3) 楽しく体全体を使っていろいろな材料の形を写す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①材料に絵の具を付けて形を写すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付いている。 ◎ローラーやスタンプの用具に十分に慣れるとともに、写してできる模様を並べたりつないだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。	①いろいろな形や色、触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、写してできる形や色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。 ◎いろいろな形や色、触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら写す材料や、写してできたものの造形的な面白さや楽しさ、造形的な活動、つくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	①つくりだす喜びを味わい楽しく体全体を使って、いろいろな材料の形を写す学習活動に取り組もうとしている。

4 題材について

(1) 題材観

本題材は、造形遊びをする活動である。体全体を使っていろいろな材料を写す活動を通して、自分の感覚や気持ちを生かしながら形や色の生み出す楽しさを味わい、積極的に版押しを試したり工夫したりして、いろいろな形や色などを見付けたりつくりだしたりする力を育てる。また、友達が写した形や色などを見合うことから、面白さを感じ取ったり、新たな意味や価値を見出したりする力を育てることができる題材である。

(2) 児童観

本学級の児童は、図画工作科の学習意欲は高い。前題材では造形的な活動を夢中で楽しむことができた。また、材料や環境に体ごとに関わり全身で感じるなど、進んで材料に働きかけたり、対象と一体になって楽しんだりする姿が見られた。しかし、発想や構想に悩んでどのように表現したらよいか悩んでいる児童も見られる。また、絵で表す題材においては、何を描けばよいか、

どのように絵を描いてよいか決められず、教師の模範や友達のを真似してしまう児童も見受けられる。

(3) 指導観

指導に当たっては、様々な材料を試すことができるよう、写す材料をあらかじめ集めたり、使いやすいように分別したりしておく。また、体全体で写す感覚や行為を楽しめるように課題提示の仕方や材料からイメージを膨らませられるような場の設定を工夫することで、表現することに迷っている児童も感性や想像力を働かせながら伸び伸びと表現することができるようにする。体育館に白いロール紙をグループごとに用意し、4、5人で版を思い思いに押しつけていき、版に表す活動の楽しさを十分に味わえるようにする。また、児童のつぶやきや発見、感動を教師が取り上げたり、児童同士をつなげたりして、全体やグループで共有できるようにする。学び合いの学習形態を通して、版を押したときの偶然の形の面白さや友達の版のよさを感じたり、交流したりしながら、形や色、表し方の工夫、材料の感じなどの見方や感じ方を広げるようにしたい。

5 題材の指導計画（2時間扱い）

次	時	学習内容・活動	指導上の留意点	評価規準【評価方法】 ○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価
1	1 2	<p>1 教師がクイズ形式で示した版を見て、何を使って押したものか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・れんこん ・洗濯ばさみ ・梱包材 ・オクラ <p>2 本時の学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>どうしたらぺったんめいじんになれるかな。</p> </div> <p>(1)教師の版の押し方を見る。 (2)ぺったんめいじんになるためにはどうすればよいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいに押す。(ぎゅっと) ・いろいろな色をためす。 ・いろいろな形をためす。 ・形を組み合わせる。 ・友達と組み合わせる。 <p>3 材料や用具の使い方を確認し、版に押ししてみたいものを選んでいろいろな版押しを楽しむ。</p> <p><活動の約束></p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料は使い終わったらもとの場 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が事前に用意しておいた版を「なにをぺったんしたのかな？」とクイズとして出すことで興味をもって学習に取り組めるようにする。 ・学習課題を伝え、学習の見通しがもてるようにする。 ・「どうしたらぺったんめいじんになれると思う？」と児童に問い、本時のねらいを児童と共有する。 ・材料や用具の使い方、片付け方などの約束事を確認する。 ・グループで1枚の大きな白いロール紙に、様々な版を押して試 	<p>○様々な形や色に気付いているかを見取り、形を試す活動に慣れていない児童には、いろいろな材料によってできる形の面白さに着目できる</p>

	<p>所に戻す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の版と重ねるときは、友達に聞いてから押す。 ・材料は歩いて取りに行く。 <p>4 作品を鑑賞して話し合い、まとめをする。</p> <p>(1)楽しかったこと、工夫したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オクラをお花畑にしたよ。 ・洗濯ばさみでお花をつくったよ。 <p>(2)友達の作品を見て気が付いたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローラーの虹がきれいだからぼくもやってみたいな。 <p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>いろいろな材料をうつしたらおもしろい形や色ができて、ぺったんめいじんになれる。</p> </div> <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次はお菓子の箱をつかって押してみたいな。 	<p>してみるよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が発見した形や色の面白さをタブレット型PCで撮影してモニターに写し、全体で共有することで活動への意欲がもてるようにする。 ・グループごとに作品を掲示することで、楽しかったことや発見したこと、友達の表現でよかったところなどを全体で共有できるようにする。 ・自分の試してみたい材料集めをしておくよう伝え、次の学習への意欲を高めるようにする。 	<p>よう声をかける（知識）</p> <p>【観察・対話・作品】</p> <p>◎写すことを試しながらいろいろな形や色ができていることに気付いている。（知識）</p> <p>【観察・対話・作品】</p> <p>○材料の特徴を生かした発想ができていない児童には友達の表現を鑑賞する時間を設け、自分の発想に生かせるようにする。（思考・判断・表現）</p> <p>【観察・対話・作品】</p> <p>◎自分のイメージに合った形や色を思い付き、どのように表すか考えている。（思考・判断・表現）</p> <p>【観察・対話・作品】</p> <p>◎いろいろな材料を使って形を写すことに慣れ、写し方や形や色の組み合わせなどを工夫している。（技能）</p> <p>【観察・対話・作品】</p> <p>◎自分や友達の表現の面白さや楽しさを感じ取り、気付いたことを伝え合っている。（思考・判断・表現）</p> <p>【観察・対話】</p>
--	--	--	--